

第14回 子どもたちの郷土芸能発表会

郷土芸能の保存、発展を目的とした子どもたちの郷土芸能発表会を開催します。子どもたちの雄姿をご覧ください。

【日時】12月3日(日)
開演 午前10時(開場9時30分)
【会場】ベイサイドアリーナ文化交流ホール

【出演団体(予定)】
水戸辺鹿子躍・長清水鳥囃子・入谷打囃子・大森創作太鼓・伊里前獅子打囃子・戸倉心輪海



☎ 生涯学習課生涯学習係 ☎46-2639

南三陸病院職員募集

●募集する職種(人数)

- 看護師 (5人程度)
- 准看護師 (2人程度)
- 薬剤師 (2人程度)
- 診療放射線技師 (1人程度)
- 臨床検査技師 (1人程度)

●受験資格

昭和48年4月2日以降に生まれた者で、募集する各職種の免許を有する者または免許の取得が見込まれる者。
※各職種共通で、日本国籍を有する者などの事項が受験資格にあります。詳しくはお問い合わせください。

●試験日時および会場

12月14日(木)午後1時30分～ 南三陸病院会議室

●試験の内容

作文・面接

●申込書類

受験申込書(直近3カ月以内に撮影した写真を貼付)、市販の履歴書、健康診断書(就労の可否が判断できるもの)、免許証の写し(在学中の場合は、卒業見込証明書と成績証明書)、職務に関する経歴書(任意様式)、受験票を送付する封筒(82円切手を貼り宛名を明記)

●受付期間

11月1日(水)～12月5日(火)
※受け付けは、平日の午前8時30分から午後5時(郵送の場合、12月5日(火)必着)

●合格発表

12月26日(火)、役場掲示場で合格者の受験番号掲示

●採用予定

平成30年4月1日(日)

●申込先 〒986-0725 南三陸町志津川字沼田14番地3 南三陸病院総務課 ☎46-3664



仙台市の「仙台秋保醸造所」の協力を得て、オリジナルラベルの「南三陸ワイン」の第一号が11月に完成する。

南三陸なうな人

南三陸ワインで
地域課題を解決したい！
【藤田岳さん】

南三陸の豊かな海を育む豊かな里山がある入谷地区。その地に新たな名産が生まれようとしている。それは「南三陸ワイン」だ。それを仕掛けるのは、埼玉から南三陸に移住し、2016年から地域おこし協力隊として活動している藤田岳さんだ。人口減少や高齢化が加速する南三陸町。各産業において担い手不足が叫ばれているが、農業においてとくに顕著になっている。

「つづいたなか、ワインブドウの栽培と、町産のワインの醸造によって課題解決の糸口を見いだそうとしているのがこのプロジェクトです」

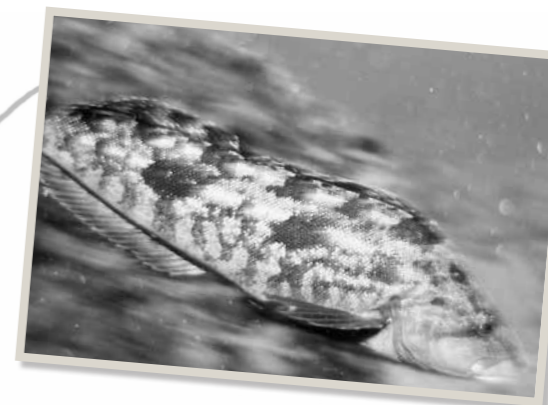
2016年には100本のワイン用ブドウを試験的に植樹。2017年にはシャルドネなど計700本を植樹した。

「カキやホタテなど世界三大漁場の豊かな海産物が南三陸にはある。ワインはそれらにとても合う。南三陸ワインで、飲食店が盛り上がり、ワイナリーを目的にしたワインツーリズムも盛り上がるかもしれない。さまざまな産業への波及効果も期待している」

南三陸産ブドウが実るのは早くて2年後。「東京オリンピックのときに南三陸ワインを飲みながら応援したい」と藤田さんは夢を語る。南三陸の名産誕生に向け、大きな一歩を踏み出した。

南三陸なう 検索 藤田さんをもっと詳しく知りたい人は、南三陸公式ブログ 南三陸なうをご覧ください。

ネイチャーセンター準備室だより 「アイナメの恋の季節」



根魚の定番といえばアイナメです。三陸では、根につく魚として「ネウ(根魚)」と呼ばれ、釣れるとうれしい魚の一つではないでしょうか。海底で潜水作業をしていても、大きなアイナメが藻場の中から突然飛び出して泳ぎ去り、驚かされることがあります。そんな時は、おいしそうなおアイナメだなぁとつい舌なめずりしてしまいます。

秋はアイナメの恋の季節。縄張りを構えた雄の体は黄金色に染まり、雌へのアピールに余念がありません。見事に雌のハートを射止めれば、雌は縄張りの中に卵を産んでくれます。卵のお世話は雄が受け

持ち、ふ化するまでの間、熱心に新鮮な水を送ったり、卵を食べる外敵を追い払ったりします。立派な雄の縄張りには、次々と雌がやってきて産卵するので、秋の深まりにつれて卵の数もどんどん増えていきます。晩秋の海の底では、今も子煩悩な雄のアイナメたちが忙しく泳ぎ回っていることでしょう。今度食卓でアイナメをいただく際には、そんな愛らしい姿をぜひ想像してみてください。

☎ 農林水産課 ネイチャーセンター準備室 ☎25-9703